

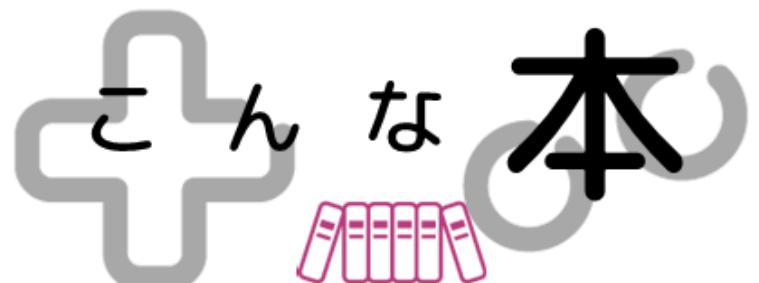
三重
市立
短期
大学

津市立三重短期大学附属図書館



G A M E

October - November 2025

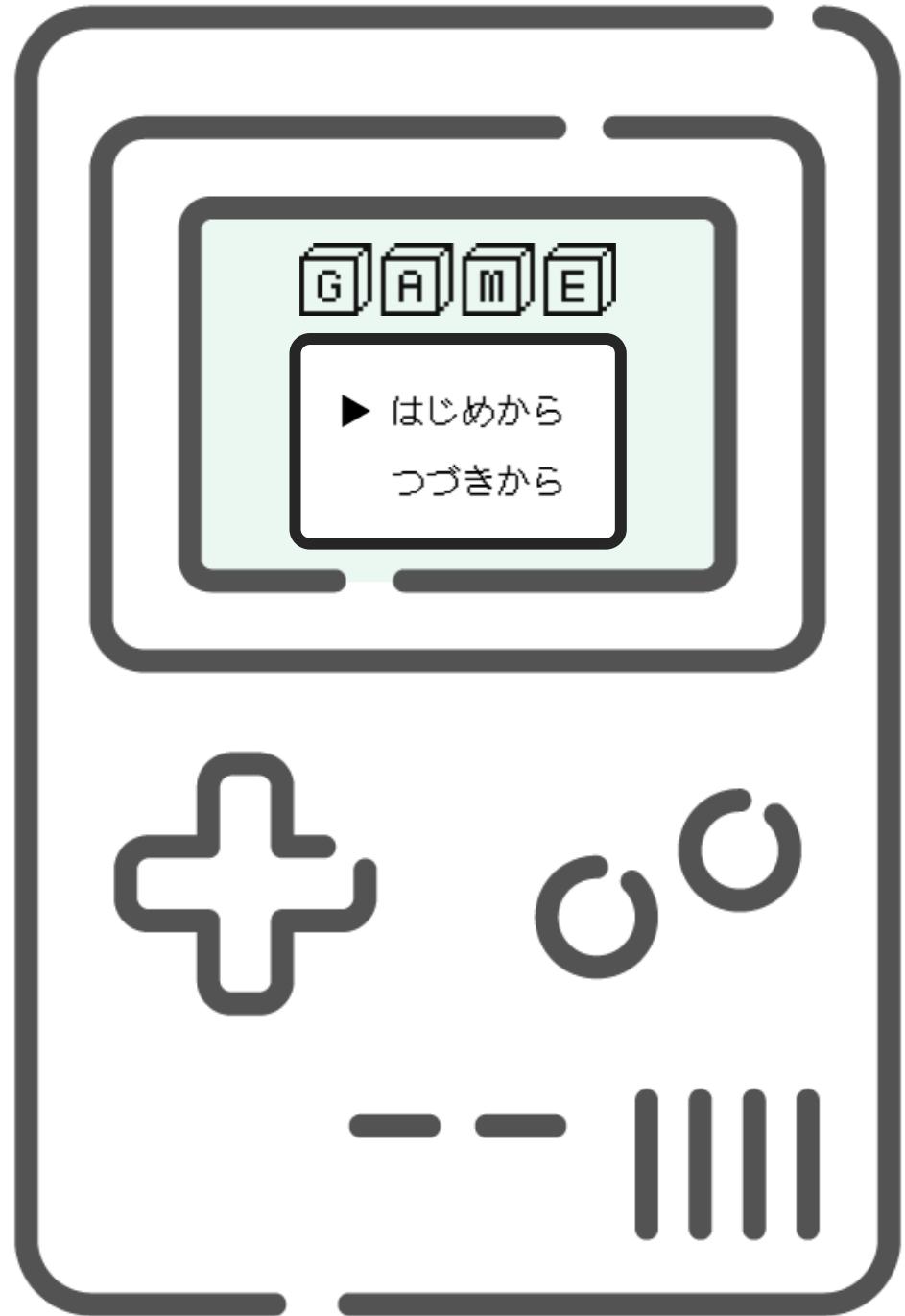


こんな本
読んでみて

No. 115

目 次

GAME	1
Book design の 世界 vol.45	10
ちょこちょこ日記 # 55	12





『5分間リアル脱出ゲーム』

著者／SCRAP

出版社／SCRAP出版

出版年／2018年

請求記号／798||Sc 9

参加型謎解きイベント「リアル脱出ゲーム」の楽しさをいつでもどこでも楽しめる一冊。自分が物語の中に入り込むような感覚を味わうことができる謎解きゲームが10本が収録されています。



『東大ナゾトレ THE BEST』

監修者／松丸亮吾

出版社／扶桑社

出版年／2022年

請求記号／798.3||Ma 81

謎解き+脳トレ=ナゾトレ。厳選のナゾトレ40問が収録されています。ヒントもあるので、気軽にチャレンジしてみてください。解けてスッキリ！を味わってみませんか？



『岩田さん 岩田聰はこんなことを話していた。』

編 者／ほぼ日刊イトイ新聞
出版社／ほぼ日
出版年／2019年
請求記号／589.77||I 97

開発者としてさまざまな傑作ゲームを生み出し、任天堂の社長としてニンテンドーDSやWiiなど革新的なゲーム機を世界に送り出した岩田聰さんのことばをまとめた一冊です。



『なるにはBooks 補巻26 ゲーム業界で働く』

著 者／小杉眞紀, 山田幸彦
出版社／ペリカン社
出版年／2020年
請求記号／366.29||N 53||H-26

プロデューサーやキャラクターデザイナーなど、ゲームに関わるさまざまな仕事を紹介する一冊。実際に働いている人たちの生の声がまとめられているので、ゲーム業界のイメージがつかめるはずです。



『eスポーツのすべてがわかる本』

著 者／黒川文雄

出版社／日本実業出版社

出版年／2019年

請求記号／798.5 || Ku 74 || A

eスポーツって何？eスポーツってスポーツなの？入門から職業としてのeスポーツまで、気になることを幅広く教えてくれる一冊です。プロゲーマーのインタビューも収録されています。



『君のクイズ』

著 者／小川哲

出版社／朝日新聞出版

出版年／2022年

請求記号／913.6 || 0 24

クイズ番組「Q-1グランプリ」の決勝で、問題が一字も読まれないうちに正解し、王者となった本庄紹。なぜ本庄は正解できたのでしょうか？クイズ番組のスリリングな世界が体験できる物語です。



『ゲームさんぽ 専門家と歩くゲームの世界』

編著者／いいだ、なむ

出版社／白夜書房

出版年／2022年

請求記号／798.5||I 26

専門家の目からゲームの世界はどう見えるのかを語る YouTubeの人気ゲーム実況シリーズ「ゲームさんぽ」。ゲームの見方がガラッと変わって、新しい楽しみ方や向き合い方が発見できる一冊です。



『世界のダンジョン 冒険をめぐる情景』

編著者／ペインインターナショナル

出版社／ペインインターナショナル

出版年／2020年

請求記号／290.87||P 15

世界各地の洞窟や古代遺跡、廃墟など、ゲームに登場するような景色がたくさん詰まった写真集です。不思議な世界に迷い込んだような気分になって、冒険心をくすぐられます。

Book design の世界 vol.45

高柳 雅人さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第45回目は、高柳雅人さんです。

今回は高柳雅人のブックデザインをご紹介します。



装画：中村佑介
装丁：高柳雅人
(角川書店装丁室)

最初にご紹介する『夜は短し歩けよ乙女』

(森見登美彦著／角川書店／2006年／913.6||Mo 54) は、京都を舞台にした少し風変わりな恋愛小説です。登場人物の「黒髪の乙女」と「先輩」の姿を描いた装画はイラストレーターの中村佑介さんによるものです。作品特有のテンポ感と、京都の街並みに漂う空気感が装丁からも伝わってきます。



装画：中村佑介
装帧：高柳雅人

『謎解きはディナーのあとで』(東川篤哉著／小学館／2010年／913.6||H 55||1) は、令嬢刑事と毒舌執事が難事件に挑むミステリー小説です。こちらの装画も中村佑介さんが手掛けており、カバーの袖や裏表紙まで描かれている立ち入り禁止テープがアクセントになっています。個性的な登場人物たちの声が聞こえてきそうなデザインです。



装帧：高柳雅人
写真：Getty Images

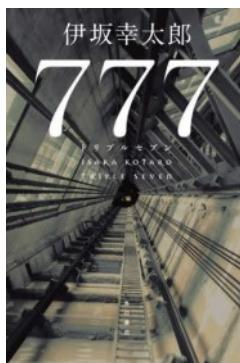
『爆弾』(吳勝浩著／講談社／2022年／913.6||G 54) は、連続爆破事件を予言する男と警察の攻防を描いたミステリー小説です。カバーには東京の街並みの写真が上下逆に配置され、背表紙に現れる逆さまの東京タワーが印象的です。青いインクの部分がUV印刷で盛り上げられており、その質感が不穏な雰囲気をにじませています。



装丁：高柳雅人
装画：遠藤拓人

『ヒポクラテスの困惑』

(中山七里著／祥伝社／2025年／913.6||N 45) は、死者の声なき声を聞く法医学ミステリーシリーズの第6弾です。本作の舞台は新型コロナウイルスが蔓延した2020年。イラストレーターの遠藤拓人による装画の中に、マスクも描かれています。装丁からもメッセージを読み解きたくなります。



装丁：高柳雅人
写真：Nigel Killeen / Getty Images

最後の一冊『777 トリプルセブン』(伊坂幸太郎著／KADOKAWA／2023年／913.6||I 68) は、殺し屋シリーズの第4弾です。舞台は地上20階建ての高級ホテル。表紙にはホテルのエレベーターを思わせる写真が用いられています。クールで洗練された装丁は、静かに物語の世界へと誘います。

高柳雅人の装丁は、物語とイラストや写真の魅力が巧みに融合しています。洗練されたデザインによって、物語の世界観がより深く、鮮やかに伝わってきました。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

ちょこちょこ日記 #55 「20周年」

津市立三重短期大学図書館ボランティア部が、2025年10月で活動20周年を迎えました。図書館ボランティア部は、附属図書館のテーマコーナーや飾りつけ、津市立一身田中学校の図書室でのワークショップ開催など活躍しています。このたび、20周年記念誌を発行しました。附属図書館ホームページにて公開しています。



↑ 記念誌表紙

図書館ボランティア部イメージキャラクター【ライブラリアン】のプロフィールはこちら。

Profile プロフィール

ライブラリアン library+alien=libralien)

- ★ 身長：6 cm
- ★ 体重：リンゴ1つ分
- ★ 宇宙の彼方にある星【ラリあん星】に住む宇宙人。2015年に地球にたどり着き、津市立三重短期大学附属図書館に住み着いている。
- ★ 気分によって、頭についている球の色が変わる。

20th Anniversary

図書館ボランティア部とライブラリアンの活躍をこれからも楽しみにしています。

次号 No.116は、2025年12月発行予定です。

こんな本読んでみて No.115

2025年10月1日 発行

編集・発行 津市立三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>